

平和が大好き、憲法9条が大好き

生協労連・憲法闘争ニュース

2008年8月29日
第26号

生協労連

電話 03(3408)0067
qyg03057@nifty.com

原子力空母ニミッツ横須賀に寄港

かながわ労組のなかまも抗議行動参加



24日、米原子力空母ニミッツが横須賀に寄港しました。

原子力空母阻止県闘争本部、阻止連、県内と首都圏の平和団体は当日、午前8時から「うみかぜ公園」に集まり、寄港に対する抗議行動を行いました。

ニミッツ横須賀寄港と抗議行動の様子は各新聞は当日の夕刊の段階から掲載、テレビ各局も放映。東京新聞が社会面で大きく取りあげました。また、神奈川新聞は当日、社説「ニミッツ寄港 常態化する恐れはないか」を掲載。東京新聞は翌日(25日)には特集記事・「原子力艦の横須賀基地寄港 拠点化の傾向顕著」を組みました。ニミッツ横須賀寄港に対して、海上から「平和船団」が2隻で抗議、昼間は「いらない! 原子力空母」のみなさんが横須賀中央駅で寄港反対のチラシを配布しました。

(記事・写真 - 米原子力空母の横須賀配備を阻止する三浦半島連絡会「阻止連ニュース NO.395」より)

新潟で国連軍縮会議開催
論点は「核の傘」

第21回国連軍縮会議に、各国や国連機関から80人が参加し、「核兵器のない世界に向けた新しい決意と行動」をテーマに話し合われました。

“非核保有国を攻撃しない”ということに法的拘束力を持たせることや、北大西洋条約機構(NATO)加盟国のベルギーやイタリアなどが、「核の傘」から離脱し始めていることが報告される一方で、日豪で主導する「核不拡散・軍縮に関する国際委員会」共同議長の川口順子・元外相は、核抑止をなくす条件として、信頼関係の構築・安全保障情勢の好転・核以外の兵器への依存などを挙げ、それらが達成されるまでは、「核の傘」に固執する姿勢を示しました。

憲法9条を持ち、唯一の被爆国である日本が、被爆者や核兵器廃絶を願う世界中の想いに応えて、イニシアチブを発揮することが、核兵器のない世界への新たな扉を開きます。

京都生協・二条駅前前で「2400 作戦」
核兵器廃絶&憲法9条 署名行動展開

生協労連第42回定期大会初日の開催前に憲法闘争本部のメンバー、大会に参加するなかま25人が集まって「生協労連2400作戦」を展開します。次年度、全国の生協労組で毎月1回、単組独自あるいは、地域のなかまと、平和、社会保障、消費税などを課題として、12ヶ月×200単組で2400回の署名行動を展開しようというのが「生協労連2400作戦」。一足早く、カウント1を京都生協の店頭で展開します。

